

## 活 動 記 録 書

開催日： 平成 30 年 12 月 6 日(木) 雨のち曇	開催テーマ： 紅葉の海街、極楽寺から長谷へ
開催場所： 極楽寺・長谷	記入者： 金久保 常二
参加人数：	
会 員	男 22 名 女 6 名 計 28 名
ビジター	男 0 名 女 1 名 計 1 名
合 計	29 名
実施内容（実施の項目、方法、効果・成果、宿題 など）： コース：江ノ電極楽寺駅(集合)～極楽寺～熊野新宮～成就院～極楽寺坂切通～虚空蔵堂～星月会館 (昼食)～御霊神社～鎌倉能舞台(見学・解散)～江ノ電長谷駅	
<p>桜橋という赤い橋を渡り導地蔵前を左側に入ると、茅葺きの極楽寺山門がある。極楽寺は正元元年(1259)に深沢に創建され、後に開基となる北条重時が現在地に移した。開山の忍性は不幸な人を救済するための福祉事業に取り組んだ。本尊の釈迦如来立像は秘仏扱いであるが、正月元旦と4月7, 8, 9日の3日間、特別公開される。境内には製菓鉢や干服茶臼が残っている。</p> <p>道の角の熊野新宮・八雲神社・諏訪神社の名が並んで書かれた石碑を右に入る。文永六年(1269)忍性菩薩の勧請と伝えられる。昭和三年(1928)同地域の八雲神社、諏訪神社と合祀して以来、極楽寺、稲村が崎の鎮守として祭典を執行し、守護神として多くの信仰を集めている。</p> <p>成就院の境内に入ると右側に弘法大師で知られる空海の大きな像が立っている。その奥に法隆寺の夢殿を思わせる小さな八角堂がある。寺の本堂は公開されないが、本尊は不動明王で千手観音・大日如来・地蔵菩薩・弘法大師・文覚上人荒行の像が祀られている。成就院山門前からは由比ヶ浜海岸や鎌倉の街が見下ろされ、見晴らしの良い所である。</p> <p>鎌倉十井の一つ、星ノ井の先の石段を上ると虚空蔵堂がある。正式には明鏡山星井寺という。本尊の虚空蔵菩薩は、秘仏として35年に一度だけ拝めるようにしたが、現在は毎年1月の13日に御開帳している。本堂左手前に舟守地蔵がある。お堂の中には舟の台座に石のお地蔵さまが立っている珍しいものである。</p> <p>老舗の力餅家の角を左に入ると、正面に石の鳥居その前が江ノ電の線路である。その線路沿いの星月会館で昼食をとる。</p> <p>午後スタートは御霊神社。社殿の屋根には金色の矢羽根があり、拝殿の脇や本殿には豊かで立派な造りの彫刻が施されている。祭神は鎌倉権五郎景正を祀っている。景正の勇名は人々に知られ、御霊神社の祭神として尊敬されている。境内には樹齢約350年のタブの木や、宝物館があり県の無形民俗文化財の面掛行列の仮面が保存されている。</p> <p>桑ヶ谷療養所跡の石碑のある道を谷の奥に進むと右側に鎌倉能舞台がある。この建物は昭和四十六年(1971)に能楽を中心とする伝統芸能の振興をはかるといふ目的で能楽関係者の手により出来た。平成二十年(2008)に改築され、新たに能楽ミュージアムが作られた。</p>	
参加者の状況・意見など：	
<p>主宰者、中森寛太(重要無形文化財総合指定保持者)氏の長男の中森健之介氏により、能楽堂の案内・説明をして頂いた。こうした機会に恵まれるのは幸運なことである。能楽を学び得られる、とても素晴らしい体験をしました。</p>	
<p>次回の予定： 平成 31 年 1 月 1 1 日(金) 京急新逗子駅北口 10 時 テーマ「新春の逗子から葉山を巡る」</p>	